

INSIDE-OUT

木二中 学校だより No.40 令和6年2月26日
校長 山元 竜二

木更津市立木更津第二中学校
〒292-0801 千葉県木更津市請西941番地
☎0438(36)2280 FAX0438(36)2233

E-mail:kisarazu2-j@kisarazu.ed.jp
<https://www.fureai-cloud.jp/kisa-kisarazu2-j>



「高校デビュー」

「高校デビュー」という言葉は今の中学生はわからないと思います。これは私が中高生の頃によく使われていた言葉ですから、今となっては完全に死語ではないかと思います。

高校デビュー：中学生の頃は、それほどクラスで目立たない存在だった人が、高校に入ってイメージチェンジを行い、垢抜けた格好や振る舞いをしたり、不良行為に手を染めたりすること。(Weblio辞書より)

「高校デビュー」という言葉を検索すると上記のように記されていました。中学生の時には目立たなかった生徒が、環境がガラリと変わる高校進学をきっかけにイメチェンを図ることで、いろいろな意味で頭角を現すということ。良い意味でも悪い意味でも使われる言葉だと個人的には思いますが、どちらかという悪い意味で使われることが多いかもしれません。悪い意味では、中学の時は大人しく、真面目に見えたはずの生徒が、高校に進学した途端に服装も行動も派手になるといった具合でしょうか。悪い意味で「高校デビュー」した生徒はいずれ誰からも相手にされなくなり、仲間たちの記憶からも忘れ去られていくという経験が私にあります。私が成人式を迎えた日、やっぱり「高校デビュー」した仲間は成人式にもその後に行われた同窓会にも姿を現すことはありませんでした。

「そう言えば〇〇は今どうしてんの？」

「さあ。高校生になって随分変わってしまったのは知ってるけど、誰も連絡とっていないみたいだし。」
こんな会話が交わされたことを今でも覚えています。寂しい話ですね。

その逆ももちろんあります。良い意味での「高校デビュー」です。私自身、たくさんの卒業生を世に送り出させていただきましたが、その中にこんな生徒がいました。中学時代は特に目立つこともなく勉強も運動もごく普通で、性格はどちらかという暗い方、挨拶もなかなかしてくれないような生徒でしたが、高校進学を機にそれまでの自分とは決別、何でも積極的に取り組むようになり、苦手だった対人関係も自分から積極的に関わりを持つようになったとのこと。自分自身が変われば、周りの仲間たちの受け入れ方にも変化が表れ、素の自分を理解してくれるようになったと私に語ってくれました。

また、高校卒業後の「社会人デビュー」になりますが、こんな生徒もいました。

1980年にドラフト1位で読売巨人軍（読売ジャイアンツ）から指名を受けたK投手のお話です。

（本人と連絡がとれなかったため、イニシャルでの標記とし、詳細な球歴については控させていただきます）

K投手は山梨県の高校に在籍していた頃、プロも注目する素晴らしいピッチャーでした。そのK投手とはちょっと縁があって先輩（私）、後輩（K投手）の間柄で、彼を高校時代からよく知っていたのですが、高校時代のK投手は、

（私）「K～、いるのかあ～？」 （K投手）「……はい…。」（か細い声で）

という具合で、異常なほどの人見知りだったのです。私は何をしゃべっても言葉を返してくれるわけでもなく、ただ、ただ無言。「マウンドに上がればすごいピッチャーなんだけどな。人とコミュニケーションがとれないんじゃないかな…。大丈夫かなあ。」とよく心配したものでした。ドラフト1位でジャイアンツに指名されたものの、あの性格では厳しいプロの世界では難しいのでは？とも思っていました。ところが、ジャイアンツ入団1年後のシーズンオフ、彼と再会した時のことでした。

（K投手）「あー、竜二さん、どうもご無沙汰しています。お元気ですか？」

（私）「えっ？」

私は耳を疑いました。心の中で「おい、K、どうした？」です。

K投手が高校時代のままの性格ならば、プロ野球選手としての将来は難しいのではないかと心配していた旨を当然彼に話しました。

「ご心配ありがとうございます。自分でもあのままじゃダメだってことはわかっていました。この世界は

厳しいですからね、自分も1年間、プロの世界で鍛えられました（笑）。」

この変わり様。その後の彼の活躍ぶりは目を見張るものがありました。後にオリックスや日本ハム、ヤクルトでもプレイ、メジャーリーグも経験し、日本を代表する投手までに。まさに良い意味での「社会人デビュー」でした。

「高校デビュー」、誰が始めに使った言葉かわかりませんが、木二中生のみなさんは自分自身、どんな高校生になりたいと考えていますか？流行（はやり）に身を任せて偽りの自分をつくりあげ、悪い意味での「高校デビュー」を果たすのか。その代償に大切な仲間を失うとしても。

それとも高校進学をきっかけに、これまでの自分を省みて、自身の人間性を高める努力をし、良い意味での「高校デビュー」を果たすのか。

流行に身を任せて偽りの自分をつくり出すことで人間性を高めることはできません。人間性を高めるために「自分を磨く」とは、自身の「内面を磨く」ことだと私は思います。

さあみんな、どんなデビューする？